



東証一部上場

証券コード:7230

私たちのテーマは

環境と安心

第58期 上半期

2010年4月1日～2010年9月30日

株主通信



日信工業株式会社

基本理念

心の豊かさ 貢献

社是

常に、世界の変化に先がけて、お客様と社会のニーズに応え、優れた商品と技術とアイデアを供給する

わたしたちは

- 夢と若さと情熱をもちつづけます
- 日々、研究と改善につとめます
- 時と物を大事にします
- 活力ある明るい職場をつくります
- 社会の一員としての自覚と責任をもちます
- 地球環境保全につとめます

行動指針

Contents

株主の皆様へ	1
トピックス	3
財務情報	5
会社情報	裏表紙

表紙

須坂市 米子大瀑布

株主の皆様へ

「環境」と「安心」をテーマに、人と地球に優しく、お客様のニーズを先取りした魅力ある商品の提供に努めてまいります。

当上半期の経済情勢を概観しますと、先進国では輸出の増勢に加え、各国の景気対策が奏効したことから、景気は緩やかな回復基調をたどりましたが、雇用・所得環境に好転の兆しがみられない中、回復のペースは緩慢なものに止まりました。一方、アジア経済は、高成長を続ける中国経済を牽引役に、各国の堅調な内需も相俟って順調な景気回復が続きました。国内では景気対策効果と堅調なアジア向け輸出を背景に、景気は緩やかな持ち直しを続けましたが、雇用情勢の悪化、設備投資の低迷が続く中、本格的な景気回復には至りませんでした。

自動車業界におきましては、先進国では新車販売支援策が効果を発揮し、需要は持ち直しに転じたものの、景気後退による消費マインドの低迷が続く中、回復のスピードは緩やかなものに止まりました。一方、新興国では、中国の需要急増をはじめとして、インド、ブラジルなどでも順調な回復が続きました。

業績について

このような環境のもと、当社グループは、現在推進中の第10次中期経営計画に沿って「環境」と「安心」に向けた軽量化商品、高付加価値商品の開発、提供を進める一方、アジア地域を中心とした売上拡大と全地域での原価低減活動等により、一層の体質強化に取り組みました。

この結果、業績面では全地域で前年同期に比べ増収、増益となり、営業利益ベースでは前年同期の赤字から黒字に転じました。

当社の取り組みについて

当下半期は、先進国では足許で景気対策効果が剥落する中、雇用の低迷から個人消費も伸び悩んでおり、来年にかけて緩やかな景気減速が続くものと予想されます。また、わが国でも、世界景気の減速による輸出の増勢鈍化や景気対策効果の剥落、円高・株安によるマインド悪化等から、景気の回復は緩やかなものに止まると見ております。一方、中国経済は輸出に減速の兆しが見られるものの、内需の拡大により、引き続き安定的な成長を続けるものと予想しております。

このような経済情勢のもと、世界同時不況以降の自動車市場の構造変革とエネルギー制約・環境問題の高まりの中で、当社グループは新興国に軸足をおいた現地調達、現地生産の拡大を進めるとともに、環境と安心をテーマとした軽量化商品・高付加価値商品の開発、提供により、足許の競争力強化と将来の成長基盤構築に努めてまいります。

今期の通期見通しについて

当期業績見通しは、売上高 1,640 億円、営業利益 115 億円、経常利益 116 億円、当期純利益 64 億円を想定しております。

業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、主要国の経済情勢、金融市場の動向など先行き不透明感が強い中ではありますが、足許の相場水準を勘案し、当下半期 80 円／US ドルを前提としております。



代表取締役社長

窪 明弘

トピックス

私たち日信工業は、持ち前のアルミ軽量化技術とブレーキシステム技術で、クルマ社会の「環境」と「安全」に大きく貢献しています。

四輪車部門

Automobile
Business

2010年10月ホンダの新型「FIT」が発売されました。ハイブリッド車も設定され、当社のコア技術を活かしたブレーキ製品とアルミ製品が採用となりました。安全、快適に加えて環境にやさしいハイブリッドカーは、「エンジン」と「モーター」で低燃費をかなえ、CO2 排出量削減に貢献し、今後更なる拡大が見込まれます。



マスターシリンダー&マスターパワー



アルミブラケット



ABS,VSA(横滑り防止装置)

ディスクブレーキ
(フロント)ドラムブレーキ
(リア)

培われた技術と信頼がもたらす勝利

二輪車部門

**Motorcycle
Business**

7月25日三重県鈴鹿サーキットで開催された真夏の祭典「鈴鹿8耐」で、NISSIN製ブレーキを装着したチームが表彰台を独占しました。

約30年に渡るレースサポートへの取り組みにより、耐久性と速く走るためのブレーキとしての信頼性が表彰台獲得に大きく貢献できました。



レース用フロントキャリパー

財務情報

連結貸借対照表

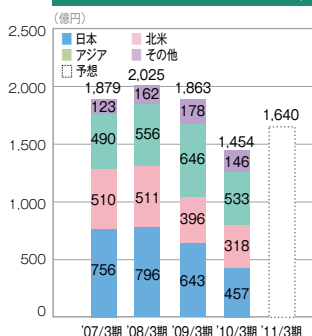
(単位:百万円)

科目	平成22年9月期末 (10/9/30)	平成21年9月期末 (09/9/30)	平成22年3月期末 (10/3/31)
〈資産の部〉			
流動資産			
現金及び預金	30,739	20,289	24,877
受取手形及び売掛金	23,131	19,914	23,355
商品及び製品	3,603	3,310	3,698
仕掛品	1,824	1,858	1,881
原材料及び貯蔵品	11,229	11,413	11,786
その他	4,063	4,541	3,538
貸倒引当金	△15	△12	△17
流動資産合計	74,574	61,313	69,118
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物(純額)	10,262	10,670	10,649
機械装置及び運搬具(純額)	22,561	27,417	25,193
工具、器具及び備品(純額)	1,583	2,312	1,855
土地	5,505	3,723	5,521
リース資産(純額)	444	641	428
建設仮勘定	2,419	1,989	1,428
有形固定資産合計	42,775	46,752	45,073
無形固定資産	946	1,032	999
投資その他の資産			
投資有価証券	13,191	12,573	14,396
その他	1,096	1,150	1,356
貸倒引当金	△81	△36	△92
投資その他の資産合計	14,206	13,687	15,660
固定資産合計	57,927	61,471	61,731
資産合計	132,501	122,784	130,850

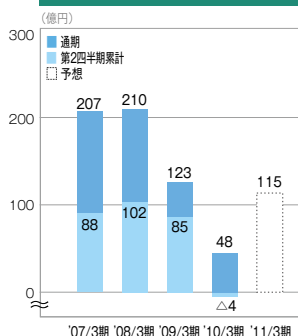
(単位:百万円)

科目	平成22年9月期末 (10/9/30)	平成21年9月期末 (09/9/30)	平成22年3月期末 (10/3/31)
〈負債の部〉			
流動負債			
支払手形及び買掛金	18,864	15,312	18,257
短期借入金	1,018	1,996	1,114
未払金	3,446	3,070	3,861
未払法人税等	805	674	371
引当金	5	50	—
その他	2,423	2,260	2,760
流動負債合計	26,561	23,360	26,364
固定負債			
退職給付引当金	1,469	1,359	1,520
その他の引当金	16	20	15
資産除去債務	49	—	—
その他	3,581	2,955	4,211
固定負債合計	5,115	4,334	5,747
負債合計	31,677	27,694	32,110
〈純資産の部〉			
株主資本			
資本金	3,694	3,694	3,694
資本剰余金	3,419	3,419	3,419
利益剰余金	81,700	75,504	77,596
自己株式	△101	△101	△101
株主資本合計	88,712	82,517	84,609
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	5,046	4,697	5,736
繰延ヘッジ損益	—	0	△38
為替換算調整勘定	△8,819	△7,112	△6,780
評価・換算差額等合計	△3,773	△2,415	△1,082
少数株主持分	15,885	14,987	15,213
純資産合計	100,824	95,090	98,739
負債純資産合計	132,501	122,784	130,850

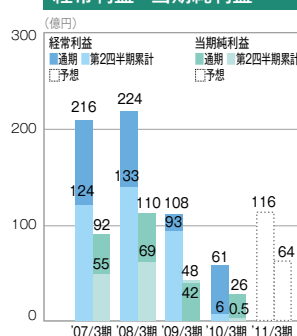
売上高 (セグメント・所在地別)



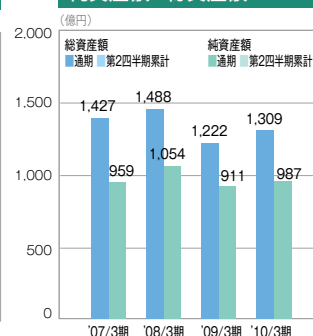
営業利益



経常利益・当期純利益



純資産額・総資産額



連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	平成22年9月期 (10/4~10/9)	平成21年9月期 (09/4~09/9)	平成22年3月期 (09/4~10/3)
売上高	83,289	64,564	145,353
売上原価	71,229	60,776	131,649
売上総利益	12,061	3,788	13,704
販売費及び一般管理費	4,664	4,198	8,874
営業利益又は営業損失(△)	7,397	△410	4,830
営業外収益			
受取利息	255	218	461
受取配当金	117	74	156
持分法による投資利益	12	-	5
為替差益	-	695	508
雑収入	145	338	564
営業外収益合計	530	1,326	1,694
営業外費用			
支払利息	28	47	92
持分法による投資損失	-	137	-
為替差損	495	-	-
減価償却費	-	-	68
貸倒引当金繰入額	-	-	55
雑支出	80	143	198
営業外費用合計	603	326	413
経常利益	7,324	589	6,111
特別利益			
固定資産売却益	7	29	32
貸倒引当金戻入額	7	1	-
製品保証引当金戻入額	-	-	45
特別利益合計	14	30	77
特別損失			
固定資産売却損	27	-	17
固定資産廃棄損	35	14	157
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	-	-
特別損失合計	104	14	174
税金等調整前四半期(当期)純利益	7,234	605	6,015
法人税等	1,280	143	1,938
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	1,392	415	1,479
四半期(当期)純利益	4,561	47	2,597

当四半期決算に関する分析

当四半期の連結経営成績

当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上面では、昨年後半からの世界景気の回復にともなう自動車需要の順調な回復を受けて、全地域で前年同期比増収となり、売上高は83,289百万円(前年同期比増減率29.0%)となりました。利益面では、増収効果に加えて、全地域での原価低減活動等により、7,397百万円と前年同期の赤字から黒字に転じました。所在地別セグメント業績は次のとおりであります。



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	平成22年9月期 (10/4~10/9)	平成21年9月期 (09/4~09/9)	平成22年3月期 (09/4~10/3)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,504	3,863	13,969
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,030	△2,588	△5,735
財務活動によるキャッシュ・フロー	△980	△2,641	△5,170
現金及び現金同等物に係る換算差額	△437	1,225	1,396
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	6,057	△142	4,459
現金及び現金同等物の期首残高	24,622	20,163	20,163
現金及び現金同等物の期末残高	30,679	20,021	24,622

■ 日本

【売上】: 市場の回復による二輪車・四輪車メーカー各社の生産台数の増加と新型車の立上りにより、25,141百万円と前年同期に比べ25.2%の増収となりました。

【営業利益】: 円高による為替影響などはあったものの、増収に伴う利益の増加及び減価償却費減少などにより、1,572百万円と同年同期に比べ3,207百万円の改善となりました。

■ 北米

【売上】: 為替影響はあったものの、市場の回復による四輪車メーカーの増産により、17,434百万円と前年同期に比べ17.9%の増収となりました。

【営業利益】: 円高による為替影響などはあったものの、増収に伴う利益の増加及び原価低減効果などにより、385百万円と前年同期に比べ857百万円の改善となりました。

■ アジア

【売上】: 中国市場の好調と現地生産拡大、インドネシア・タイ市場の回復及びベトナムの好調による二輪車・四輪車メーカー各社の増産及び為替影響により、32,769百万円と前年同期に比べ39.9%の増収となりました。

【営業利益】: 原材料高騰影響などはあったものの、増収に伴う利益の増加、原価低減効果及びルビア・パーツ高による為替影響などにより、4,023百万円と前年同期に比べ2,824百万円の増益となりました。

■ 南米・欧州

【売上】: ブラジル市場の回復による二輪車メーカー各社の増産及び為替影響、欧州の大型二輪車の増加により、7,945百万円と前年同期に比べ26.8%の増収となりました。

【営業利益】: 増収に伴う利益の増加、原価低減効果及びリアル高による為替影響などにより、1,182百万円と前年同期に比べ953百万円の増益となりました。

会社情報

会社概要

商号	日信工業株式会社		
英文社名	NISSIN KOGYO CO.,LTD.		
設立	1953年10月		
事業内容	四輪車及び二輪車向けブレーキ装置及びアルミ製品等の開発、製造、販売		
資本金	36億94百万円(2010年9月30日現在)		
従業員数	2,189人(2010年9月30日現在)		
役員	代表取締役社長	窪 明 弘	
	代表取締役副社長	上 田 勝 俊	
	常務取締役	菅 沼 博 之	
	常務取締役	柳 沢 秀 明	
	常務取締役	檜 森 啓 二	
	取締役	別 府 潤 一	
	取締役	岸 本 明 彦	
	取締役	樋 村 正 弘	
	取締役	玉 井 尚 利	
	監査役(常勤)	美 齊 津 秀 則	
	監査役(常勤)	押 森 公 夫	
	監査役	小 口 憲 政	
	監査役	松 本 榮 一	

(2010年9月30日現在)

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
利益配当金支払株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの中間配当金支払株主確定日は9月30日であります。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ 信託銀行
同連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ 信託銀行 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により実施 http://www.nissinkogyo.co.jp/investors/index.html

グローバルネットワーク

国内生産会社	海外生産会社	海外R&D4拠点
連結子会社 3社 持分法適用会社 2社	連結子会社 11社 持分法適用会社 4社	アメリカ・スペイン・タイ・中国



株主優待について

- (1) 対象株主 毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に記載された300株以上保有の株主様
- (2) 優待内容 ①300~999株保有の株主様：3000円相当の商品
②1000株以上保有の株主様：5000円相当の商品
- (3) 贈呈時期 3月31日現在の株主様へは6月中、9月30日現在の株主様は12月中の送付(年2回)



3,000円相当の商品



5,000円相当の商品

日信工業株式会社

本社 〒386-8505 長野県上田市国分840番地 TEL 0268-24-3111(代表) FAX 0268-24-7520

<http://www.nissinkogyo.co.jp>